

Lesson 16 An Impressive Book

■音読から黙読,そして電子媒体へ…読書の歴史

小説やエッセーなど,私たちの身の回りには,様々な本であふれています。みなさんにとって大切な,お気に入りの本もあるかと思います。

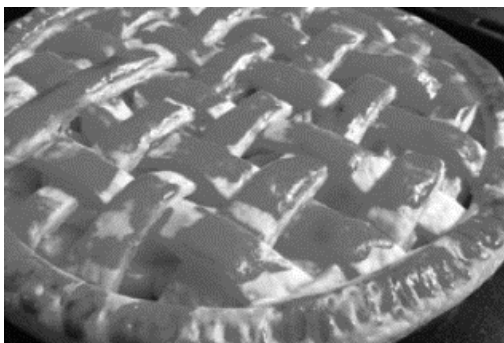
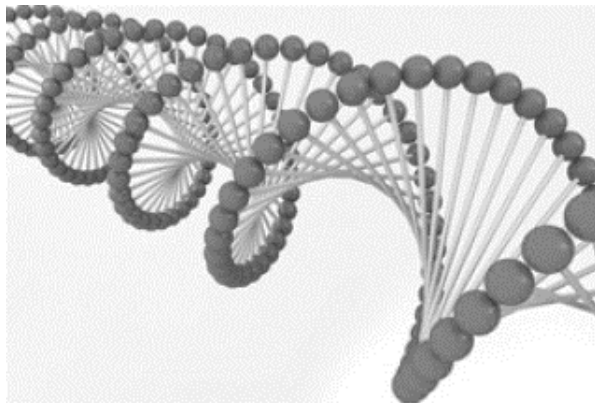
文字を読む習慣,すなわち読書も,時代の流れにより様変わりしてきました。西洋では,活版印刷が発明されるまで読書は一部の富裕層しか楽しめない趣味でした。印刷技術が発達して書籍が登場すると識字率が飛躍的に上がり,やがて大衆に広がるようになりました。

日本では,江戸時代までは音読が中心でした。つまりそれまで文学は,朗読して読み聞かせるものだったのです。明治時代に入ってから黙読が主流となりましたが,それまでのクセが抜けきれず音読を続けていた人もいたそうです。

今日では紙だけでなく,インターネットや電子書籍など電子媒体で読むことができます。目の不自由な方が活字に触れるために,音声読み上げ機能のある電子書籍やエッセーとして楽しむことができたり,著作権の切れ目がなく小説を読むこともできたりするように,インターネットや電子書籍など電子媒体は短い間で飛躍的に成長した媒体なので,今後さらに新しい媒体が出てくるかもしれません。



授業の興味付けに役立つ Lesson のトピックに関連した読み物。



教科書で使用されているイラストや画像のファイルをご用意しました。自作のプリントをはじめ,様々な用途にご利用いただけます。